



2004年4月8日玉島にて採集したタイラギの貝柱。

タイラギは大きな貝柱を持ち，食用になります．その味はホタテガイに勝るとい人もいます．刺し身やバター焼きで賞味します．

かつて，日本でのタイラギの最大の産地は有明海でした．

ところが近年，漁獲量が激減し，壊滅状態になってしまいました．多くの専門家や漁民は，この原因が諫早湾の埋め立てにあると考えています．

タイラギのような大型の貝にはカクレエビの仲間が共生していることがあります．殻が薄く，いかにも弱々しい姿をしています．雌雄のペアで発見されるのですが，どの貝にも入っているわけではありません．右の写真は浦ノ内湾のタイラギに共生していたタイラギカクレエビの雌です．浦戸湾のタイラギからは発見できませんでした．共生しているカクレエビ類が実際にどんな生活をしているかはまだまだ謎です．



2004年2月24日に浦ノ内湾で採集したタイラギカクレエビの雌。

2004年8月4日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します．複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）をお願いします．